

令和7年度(第27回)日米硫黄島戦没者合同慰霊追悼顕彰式
追悼のことば

令和8年3月28日

日米硫黄島戦没者合同慰霊追悼顕彰式の開催に当たり、外務省を代表して御挨拶申し上げます。

今から81年前、それぞれの祖国のために、そして家族や大切な人々の幸せを祈りながらこの地で亡くなられた日米双方の兵士の御霊に対し、哀悼の誠を捧げるとともに、御遺族の皆様に対し、謹んでお悔やみ申し上げます。

本日、私は、かつて日米両国が激しい戦闘を繰り広げたここ硫黄島に立ち、厳粛な合同慰霊追悼顕彰式に参列させていただき、今日の日米両国、そして地域の平和と繁栄は、命を落とされた方々の尊い犠牲と両国の弛まぬ努力によるものとの思いを新たにいたしました。

国家間の競争が激化・複雑化・常態化し、私たちが慣れ親しんだ自由で開かれた安定的な国際秩序が大きく揺らいでいる中、日米同盟で堅く結ばれた日米両国は、インド太平洋地域の安定を支える中核であり、インド太平洋地域の平和と繁栄の礎です。インド太平洋地域及び国際社会の平和と繁栄を実現するべく、これまで以上に協力し、不断の努力を重ねていくことをここに改めてお誓い申し上げます。

本日の式典を主催された日米両国の硫黄島協会の皆様及び全ての関係者の皆様方の御尽力に厚く御礼申し上げます。また、改めて亡くなられた方々の鎮魂と平和を祈念するとともに、御参列の皆様の御健勝を心からお祈り申し上げ、私の挨拶といたします。

外務副大臣 堀井巖